

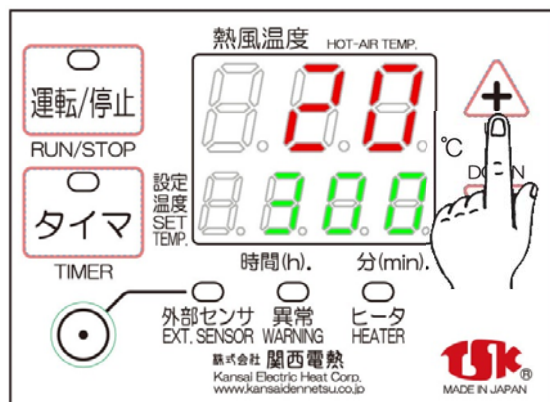
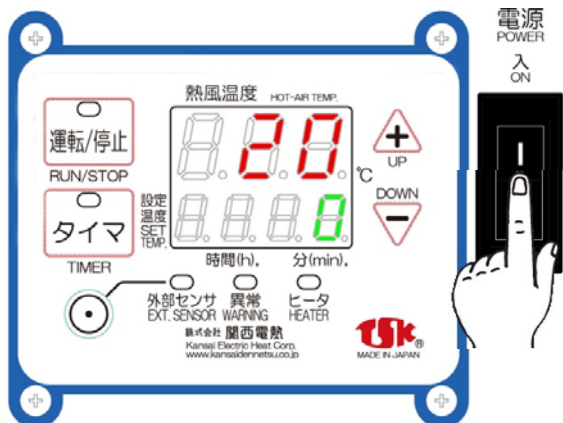
# マルチドライヤ HASシリーズ

## 基本操作手順書

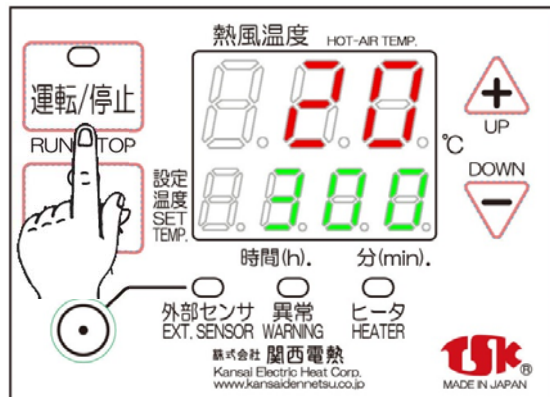
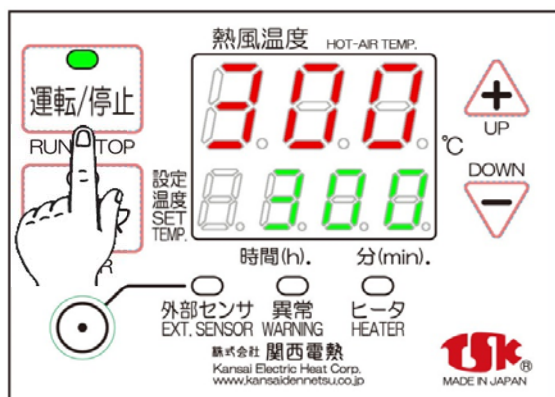
### 1. 通常運転

- ① 工場電源（一次側電源）をONにし、本体の電源スイッチを入してください。また、HAS-42は本体のブレーカ(NFB)をONにしてください。
- ② アップダウンキーにて任意の吐出口温度を設定してください。

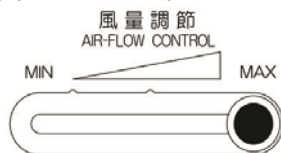
熱風温度部に現在温度、設定温度部に『0』が表示します。



- ③ 運転/停止スイッチを押すと、運転/停止ランプ（緑）とヒータランプ（緑）が点灯し、熱風運転を開始します。
- ④ 熱風運転中に、再度、運転/停止スイッチを押すと、運転/停止ランプ（緑）とヒータランプ（緑）が消灯し、運転を停止します。



必要に応じてスライドシャッタ(ダンパ)にて風量を調節してください。



風量が多い場合は、設定温度に到達しないこともありま  
すので、カタログ記載の性能曲線をご参照の上、適正風  
量に絞ってご使用ください。

ご使用後は、電源スイッチを切にして、工場電源  
(一次側電源)もOFFにしてください。ご使用直  
後は本体や吐出口に余熱がありますので、充分  
冷えたことを確認してから収納してください。

- ※ HAS-42は本体のブレーカ(NFB)をOFFにする必要はあり  
ません。

〈注意〉 運転/停止スイッチで運転を停止してから、工場電  
源(一次側電源)をOFFにしてください。

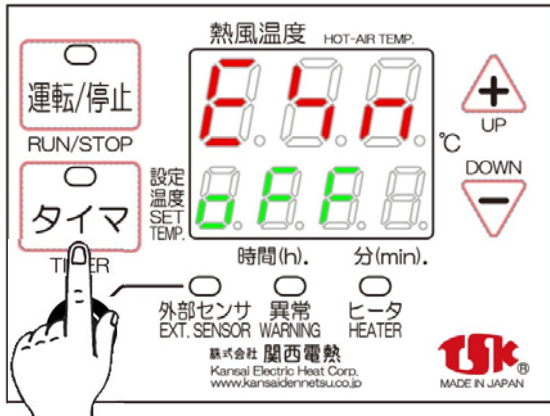
マルチドライヤの一次側に設けられた電磁接触器等でマルチドライヤの運転停止をおこなわないでください。サージ電圧により内部電子機器が破損します。また、HAS-42のブレーカ(NFB)は常時ONとし、操作スイッチとしてのON/OFFはしないでください。サージ電圧により内部電子機器が破損します。

## 2. 外部センサを使用する場合

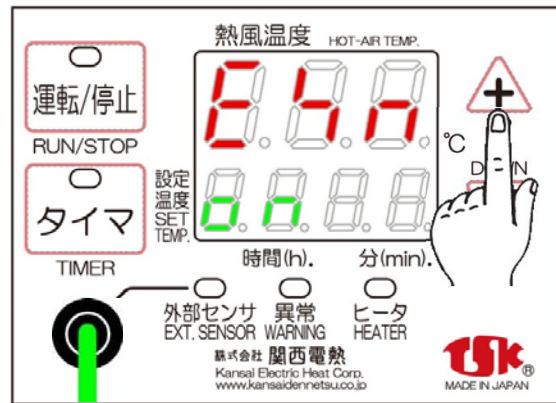
- 外部センサによって離れた場所の温度をコントロールできます。外部センサ KX350AJを本体操作パネルの外部センサソケットへ差し込み、付属のバンドとインシュロックでしっかりと固定した後、設定をおこなってください(固定方法は外部センサ KX350AJ付属の取扱説明書をご参照ください)。  
※ 外部センサソケットの黒色キャップを外して、外部センサを差し込んでください。
- 外部センサには必ず専用外部センサ KX350AJをご使用ください<sup>(注1)</sup>。
- 外部センサを使用した場合は、設定温度部の熱風温度設定は外部センサ位置の設定、熱風温度部の熱風温度指示は外部センサ位置の温度となります。

- ① 停止中にタイマスイッチを約2秒間押してください。

熱風温度部に『ESn』、設定温度部に『oFF』が表示します。

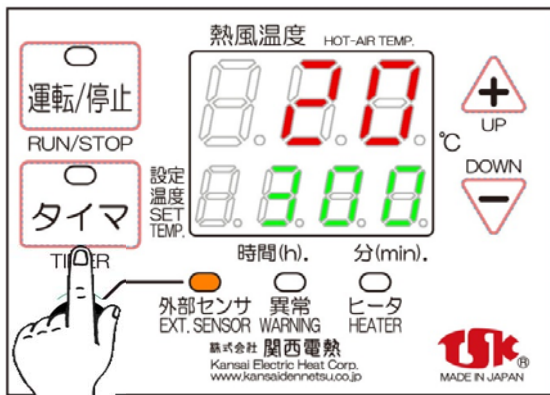


- ② アップキーにて『oFF』を『on』へ変更してください。



- ③ 再度、タイマスイッチを2回押して、通常運転状態へ戻し、熱風運転を開始してください。

このとき、外部センサランプ(橙)が点灯します。



外部センサを接続せずに、外部センサ設定をおこなうと、外部センサ断線の異常が表示されます。この場合の解除方法は取扱説明書の5. 各異常表示をご参照ください。

外部センサを使用時、省エネを目的とした間欠運転モード機能も使用できます(外部センサ温度の設定温度に対してマルチドライヤが自動運転、及び停止)。詳細は当社ホームページの取扱説明書『便利な機能』編をご参照ください。

(注1) マルチドライヤ HAS-11、HAS-21にて、本体お買い上げ後に外部センサをご注文いただく場合は、本体の管理番号をご指示ください。ご購入時期によりご使用いただける外部センサの型式が異なります。

機種	管理番号	適合外部センサ型式
HAS-11	TIS001～TIS005	K350AJ
HAS-21	TIS006以降	KX350AJ

マルチドライヤの取扱説明書は当社ホームページよりダウンロードしてください。

ホームページ [www.kansaidennetsu.co.jp](http://www.kansaidennetsu.co.jp)

《取扱説明書 内容》

1. 据付
2. 配管
3. 電源
4. タイマ運転
5. 各異常表示
6. その他の異常
7. 保守点検保証